

プラモデルの作品写真を撮ろう

作品写真の撮影方法を具体的にご紹介！

1. プラモデル写真撮影の機材
カメラ、背景セット、照明、三脚
2. 実際の作品撮影方法
3. 工作途中の写真撮影
4. もっとプラモデルの写真撮影を楽しむには



プラモデルの作品写真を撮ろう

by 田口 博通 Hiromichi Taguchi

最近流行しているプラモデルの楽しみ方の一つは、なんといっても 完成した作品を写真に撮ることです。

その背景にはやはり、デジカメの急速な普及で、気軽に写真に撮ることができるようになったことがあるように思います。

ブログやFacebookに 完成作品や工作途中の写真を掲載することが盛んになり、webモデラーズにも 投稿作品が増えてきています。

そんなわけで、今回はプラモデル作品の写真の簡単な撮り方を紹介するとともに、プラモ撮影の楽しみ方を いくつかご紹介したいと思います。

プラモデルの作品写真を撮影する方法をご紹介します。室外での撮影は天候や時間に左右されるので、室内での蛍光灯撮影を紹介します。

室内での撮影には機材が必要になるのですが、できるだけ、時間と手間はかけたくないもの。実際にwebmodelersの編集部で使っている機材を基本に紹介させていただきますが、こんなに簡単な機材や環境で撮影しているの?と ちょっとびっくりされるかもしれません。

プラモデル写真撮影の機材

カメラ

今はフィルムカメラでなくデジカメを使うのが一般的でしょう。安いごく一般のコンパクトなデジカメがあれば、プラモデル撮影には充分です。ちなみにwebmodelersの掲載サイズは横800ドットですが、1メガモードのデジカメでも1280*960ドットで撮影できます。

3メガのデジカメでは 2048*1536 まで撮れます。

ポイントは 3脚を使うので、デジカメの底に「3脚用のネジ穴」がある機種を選んで下さい。

また近接モード(お花マーク)で撮影することが多いので、20cmくらいからでも撮れるデジカメが良いでしょう。

私は10年前に買ったソニーのDSC-T1という薄型のサイバーショットを使っています。最大5メガで 2592*1944 まで撮れるようになっていますが、解像度は充分過ぎるほどです。

絞り優先(Av)モードがある高級デジカメは、被写界深度を調節でき 手前から奥までピントを合わせやすいので、有利ですが、筐体も大きめで、価格も高めです。余裕があり、もう一つデジカメを買えるという状況ならば検討してもいいでしょう。

コンパクトデジカメ



このデジカメで撮影した TA-7C(1/72ホビーボス)



背景セット

最も悩ましいのが、写真を撮る時の背景セットだと思います。背景に部屋のゴタゴタが映っていると、せっかくの作品の素晴らしさが減ってしまうので、背景は重要な要素の一つです。

右の写真は webモデラーズの写真の撮る時に使っている簡単背景セットです。投資は200円ぽっきり。こんなもので 充分すぎる撮影ができます。

まず、カレンダーと大きな背景紙を用意します。

カレンダーは上枠を使うだけですが、大きい方がいいでしょう。

背景紙は全紙の大きさのラシャ紙を買ってきます。色のついた反射がなく、裏が透けない紙だったら、ミューズコットンでもケント紙でも何でもOKです。最寄の画材店で一枚200円ぐらいです。色は好みで選んでみてください。私が使っているのは ブルー、水色(萌色)、黒、白、などですが、薄紫なども落ち着いた色です。

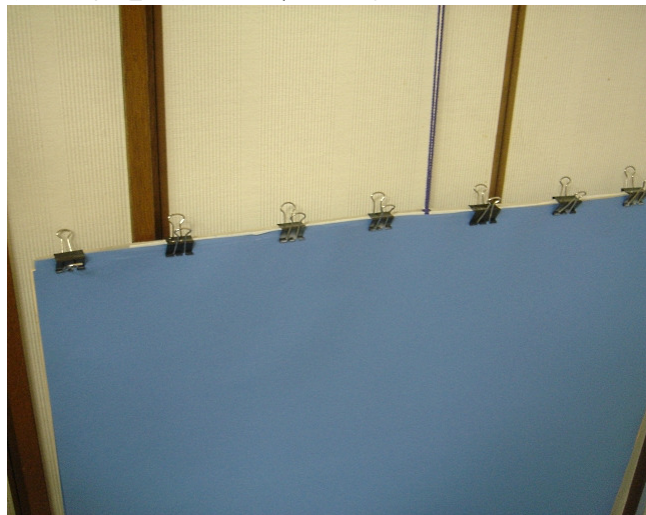


ラシャ紙をクリップで留める。

そのラシャ紙を、カレンダーの上枠にクリップで留めます。そして、小さい机か イスの上に 上からひもでつったカレンダーならぬラシャ紙を写真のようにたさせば、背景セットは出来上がりです。

ひもをつるす時のフックですが、クローゼットの上の隙間の所に 定規を差し込んで、カレンダーのひもを定規にひっかければ、フック代わりにになります。こうすれば、壁にフックの穴を開ける必要もありません。

使用しない時は、裏返しにして元々のカレンダーとして壁に飾って利用するか、めだたないようにタンスの裏側あたりの壁にかけておけばよいでしょう。



照明

照明は 写真のような どの家にもある蛍光灯スタンドがあれば充分です。

レフ板も使っていません。無くても 全然 大丈夫です。

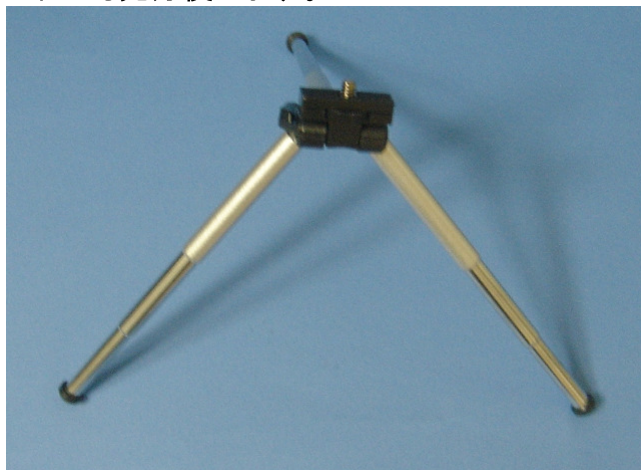


三脚

三脚だけはぜひ使って下さい。カメラのブレを防げます。安価なので大丈夫です。私の使っている三脚は30年前の年代物ですが、まだまだ使えています。



下は最安値 100均で売っていたデジカメ・スタンドです。脚が短いですが、台の上において使えば、これでも充分使えます。



実際の作品撮影方法

まず、カメラを三脚に取り付け、カメラアングルを決めます。

カメラアングルは 上からだけでなく、視線位置でも取ってみましょう。それは実機を見上げる位置になり、1/48飛行機の場合、170cmの身長とすると、水平面から3cmくらい上の位置です。

レンズは近接モード(お花さんのマーク)にしておきます。

デジカメのISOはオートでもよいですが、できれば100か200にしておくといでしょう。ノイズが少なくなります。ホワイトバランスW/Bもオートで充分です。

照明の蛍光灯スタンドを手で持って、AFオートで、タイマーモードにして チツ、チツ、チツ、パチン。

タイマーを使うのはシャッターを押すときにさわらないで済むので、カメラのブレが防げるためです。

もし、絞り優先(Av)モードがある高級デジカメをお持ちの場合は、絞りをできる限り大きな値(f20以上)にして撮影すれば、翼端までピントのあった写真が撮影できます。



構図とトリミング

(構図)

撮影時は手持ちのデジカメの最大解像度モードで撮っておくことがコツ。それは後で、周囲をトリミングするためです。

また、周囲をトリミングすると決めておけば、構図を気にする必要がなくなり、気楽に撮ることができます。

ポイントは、カメラはレンズの周辺になるほど焦点深度でボケやすく、また歪みがあるので、中心部2/3程度に収まるように機体を置いて、最大解像度モードで撮影します。トリミングで上下左右をカットすれば、翼端までシャープな写真を得やすくなります。

視線位置で撮った トリミング前の写真
下に余分な部分が見えている。



(トリミング)

webモデラーズでは 標準の掲載サイズは 完成写真を 横幅 800dot 組立て中説明写真は 横幅 400dot としています。それで、私の場合は 右上写真のように5MEG(2592*1944)で撮影して、機体の周囲をトリミングし、その上で所定の横幅にリサイズしています。

トリミングなどの写真加工は、デジカメに付属してくるソフトウェアでも、PCに標準に付属しているソフトウェアでも 十分に使えます。自分で使い易いものを選びましょう。明るさ、コントラストも補正できます。

トリミング後の写真



工作途中の写真撮影

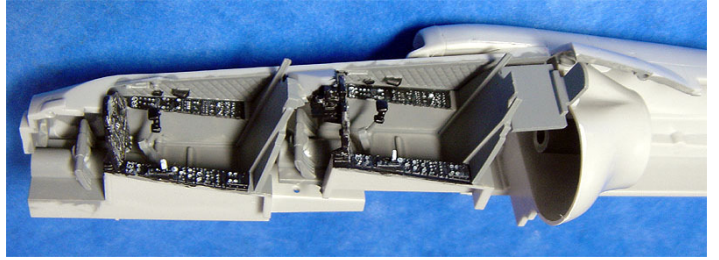
工作途中で撮影しておく、製作記事を書く時に利用することもできます。

工作途中の写真は工作机の上で手持ちで撮ることが多いので、背景バックは机の周囲にある手近なものを積極的に利用しましょう。そうすると、途中写真の記録を残すことが負担でなくなり、楽しくなってきます。

最適なのはコンパクトデジカメが手持ちで撮影距離が短くても撮影できるので、機動性を発揮します。また、オートモードでも明るく撮影できます。

一眼レフ高級デジカメは撮影距離を最低50cmくらい必要とするので、意外と使いにくいものです。

下の写真のバックは実はファイルホルダーの青い表紙です。



背景紙

また、A4ファイルフォルダーの内側にブルーの紙を切って貼りつけたものを作っておくと、便利に使えます。いつもは折りたたんでおけます。



使用する時は開いて、適当なもので後ろを支えると、開いたページの片側がバックになります。こんな具合です。



下の写真は右のようにして撮影しています。バックに机の上の余分なものが写っておらず、すっきりとしています。



さらに プラモデルの写真撮影を楽しむには

バックの色

バックの色で写真の表情が変わってきます。シャープなメカ感を出したければ、バックを黒にするのもいいでしょう。

黒のバック



色がついたバックは やわらかい雰囲気になります。バックの色紙をちょっと変えてみる、こんな簡単なことでも、プラモデルの写真撮影をもっと楽しむことができます。

ライトブラウンのバック

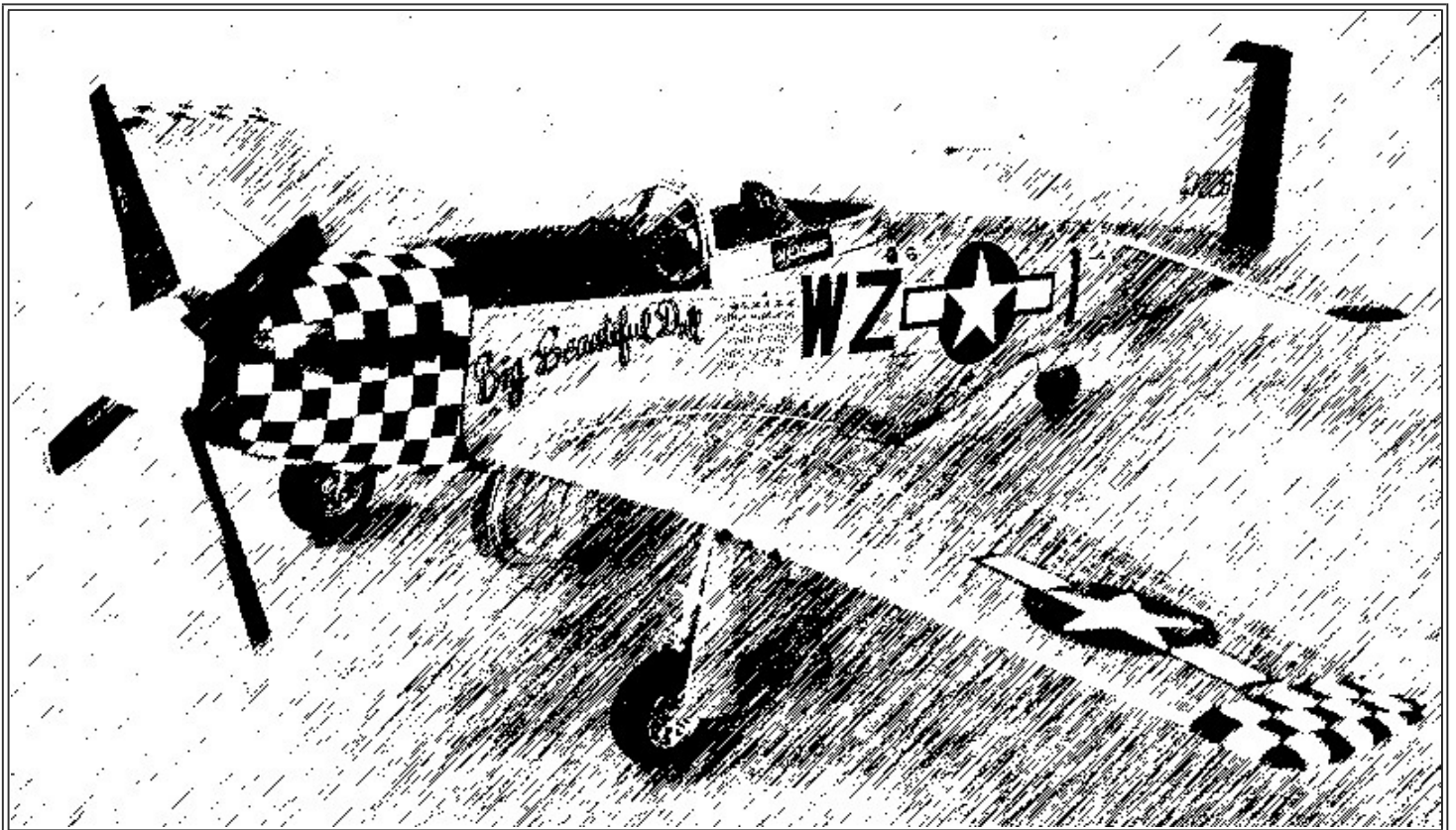


写真加工

さて、もう一つ楽しみ方をご紹介します！
飛行機のペン画を書きみたいと思っていた方も多
いはず。

写真加工ソフトの機能を使うと それらしいものが簡
単にできます。

下は、表紙のムスタングの写真を写真加工ソフトの
「効果」→「グラフィックペン」機能で変換したもの。
こんなことも 最近是可以ののです。



それでは、あなたの素晴らしい作品の写真を 撮ってみましょう！

下の写真は 説明した撮影セットで撮影したホンダレーシングカーです。
簡単に こんな風に 誰にでも撮れます。

撮ったら もちろん webモデラーズの誌上個展コーナーにも 応募してみましょ
う。

応募先は info@webmodelers.com

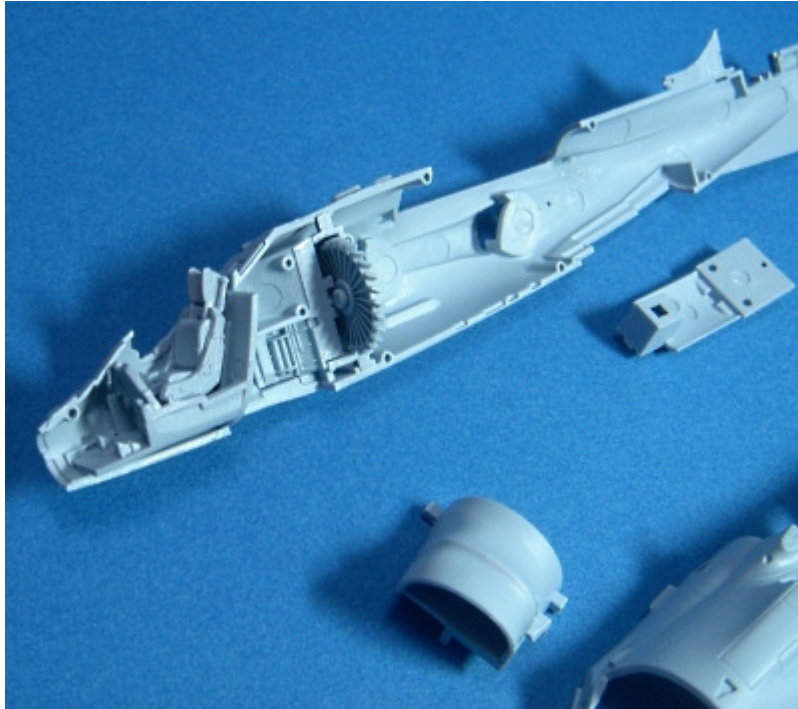
メールに作品写真を添付してお送り下さい。
お待ちしております。

ホンダホンダF1 RA272 (タミヤ 1/20)



写真例 ハリアーGR1 (1/72 エアフィックス)

工作途中写真



完成作品 写真



後付け

webmodelers 増刊 プラモデルを作ろう! Beginners スタートアップ (No. 3) プラモデルの作品写真を撮ろう

このシリーズの第3弾として「プラモデルの作品写真を撮ろう」を発行しました。
ぜひ参考にしていただいて、素適な プラモデル作品写真の撮影に活用いただければ、編集者の望外の喜びです。

WEBモデラーズでは 引き続いて、Beginners スタートアップ (No. 4)を計画しています。お楽しみに

* 月刊NET模型誌「webモデラーズ」は スケールモデル専門の無料INTERNET模型誌です。実機資料から 製作記事など毎月満載。
一度ぜひ訪問ください。アドレスは
<http://www.webmodelers.com>

もし、あなたの作品が完成すれば、ぜひデジカメで写真を撮って eメール添付で
月刊NET模型誌「webモデラーズ」の「誌上個展コーナー」あてお送りください。

編集部 送り先は info@webmodelers.com
お待ちしております。

[Webmodelersからご挨拶]

webmodelersは Internet上でwebマガジン形態のスケールプラモデル専門の模型誌として出発しましたが、電子書籍媒体でも 弊誌の主要な記事や貴重な写真資料、作品の写真を電子書籍 の形に残して刊行して行きたいと考えています。
また、プラモデルビギナーズの皆様のために、無料のPDF小冊子「Beginners スタートアップ」を発刊しています。
今後も、航空機記事だけでなく、AFVなど ジャンル別に増刊の形で発行することを予定しております。
末永く皆様のご支持を よろしく願いいたします。

webmodelers 増刊 プラモガイド
プラモデルを作ろう! Beginners スタートアップ (No. 3)
プラモデルの作品写真を撮ろう

発行人: 田口博通
発行所: office webmodelers
住所: 神奈川県湘南
連絡先: info@webmodelers.com

2014年 3月7日発行 (通巻66集)

無料INTERNET模型誌 月刊 webモデラーズ
<http://www.webmodelers.com>

著作権は発行所に帰属しております。
無断転載を禁ず
e-bookの電子情報 (PDFファイルおよび e-Pub ファイルなど)の無断複写 および、無断配布を禁ず。



www.webmodelers.com /Office webmodelers all right reserved /